

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

| I. 提案事業の概要 | |
|------------------------|--|
| 1. 対象国名 | ベトナム社会主義共和国 |
| 2. 事業名 | トゥアティエン・フエ省における廃棄物処理工程構築支援 |
| 3. 事業の背景と必要性 | <p>本事業の提案自治体である福岡県は2013年から、ベトナム・ハノイ市において、環境に配慮した準好気性埋立方式（福岡方式）によるスアンソン廃棄物処分場の整備について技術支援を実施してきた。ハノイ市での福岡方式処分場の竣工（2016年）を受け福岡方式を高く評価したベトナム政府は、国内での福岡方式の普及展開に高い関心を有している。</p> <p>2017年6月、JICA（技術協力プロジェクト）の支援を受け、廃棄物処理に係るマスタープランを策定したトゥアティエン・フエ省（以下「フエ省」）から福岡県に対し、同省における福岡方式の導入に係る技術支援の要請があった。</p> <p>ベトナム政府との協議を経て、フエ省が選定した候補地における福岡方式の導入可否について、福岡県の専門家が現地調査を実施し、導入可能と判断した。フエ省の廃棄物処理マスタープランでは、衛生的な処分場の整備のほか、住民の3R意識の向上を掲げているところ、福岡方式処分場の導入支援により、フエ省行政官・市民に対する分別・リサイクルに関する意識を向上させることで、同省のマスタープランの実効性を高めるものと考えられる。</p> |
| 4. プロジェクト目標 | フォンビン処分場が適切に運用・維持管理される。 |
| 5. 対象地域 | フエ省 Huong Binh 地区 |
| 6. 受益者層 (ターゲットグループ) | フエ省行政官、フォンビン処分場の運用・維持管理に携わるエンジニア、対象地域の住民 |
| 7. 生み出すべきアウトプット及び活動 | <p><アウトプット></p> <p>トゥアティエン・フエ省建設局（TTH DOC）行政官およびフォンビン処分場の運用・維持管理に携わるエンジニアが、フォンビン処分場の適切な運用・維持管理に必要な知識・技術を習得する。</p> <p><活動></p> <p>1-1. フォンビン処分場の施工（竣工）状況に関する協議を実施する。</p> <p>1-2. 福岡方式処分場の使用前検査等に関する技術指導を実施する。</p> <p>2-1. フォンビン処分場の運用・維持管理方針に関する協議を実施する。</p> <p>2-2. フォンビン処分場の運用・維持管理に関する技術指導を実施する。</p> <p>【技術指導の概要】</p> <p>① 廃棄物搬入管理（質・量の記録、搬入不適物の排除）</p> <p>② 埋立作業管理（覆土管理、埋立管理、安全衛生）</p> <p>③ 施設管理（最終処分場施設を機能させるための維持管理）</p> <p>④ 環境管理（埋立廃棄物の質の変化の把握、浸出水・埋立ガスの管理、処分場およびその周辺環境監視）</p> <p>⑤ その他の管理（安全管理、防火・防災など）</p> <p>2-3. 事業実施団体、フエ省行政官およびフォンビン処分場の運用に携わるエンジニアがフォンビン処分場の運用・維持管理マニュアルを協働で作成する。</p> <p>2-4. TTH DOC 行政官らを研修員とした訪日研修を実施する。</p> <p>2-5. 作成したフォンビン処分場の運用・維持管理マニュアルの運用、評価、見直しのPDCAサイクルを複数回にわたり実践する。</p> <p>3-1. 本事業により得られた成果を関係学会等で公表する。</p> |
| 8. 実施期間 | 2023年6月～2026年6月（3年0ヶ月） |
| 9. 事業費概算額 | 35,658千円 |
| 10. 事業の実施体制 | <p>提案自治体：福岡県</p> <p>事業実施団体：一般財団法人 日本環境衛生センター</p> |
| 11. 相手国側実施機関 | フエ省建設局 |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名（提案自治体名） | 福岡県 |
| 2. 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハノイ市における廃棄物埋立処分場計画支援 (JICA 草の根技術協力事業 2013年～2016年) ・フエ省における福岡方式処分場の適地選定調査支援 (福岡県予算 2017年度) ・フエ省における福岡方式処分場導入に向けた設計・施工に係る技術指導 (福岡県予算 2018年度) |